

# 行政視察 レポート

3つの常任委員会が実施した行政視察の先進事例調査結果を、各委員長がお知らせします。  
※詳細は市議会ホームページをご覧ください。

<b>総務</b> 7 / 28～30	大分県中津市 …地域公共交通の再編 福岡県大牟田市…公共施設維持管理計画 熊本県熊本市 …動物愛護事業
<b>福祉教育</b> 10 / 6～8	山口県周南市…コミュニティスクール(学校運営協議会) 香川県高松市…高齢者居場所づくり事業 兵庫県尼崎市…地域社会の子育て機能向上支援事業(子育てコミュニティソーシャルワークの実施)
<b>経済建設</b> 10 / 7～9	群馬県館林市 …中小企業振興基本条例 群馬県高崎市 …まちなか商店リニューアル助成事業 茨城県ひたちなか市…勝田駅東口再開発事業

## 総務委員会

### 中津市



中津市の公共交通48路線のうち、路線バスはすべて赤字であり、市の財政負担額が年間約7,000万円にも上ることから、今後を見据え、平成26年度に地域公共交通網形成計画を策定し、地域公共交通の再編が推進されました。幹線バスと支線バスの構築、コミュニティバスや路線バスの見直し、住民の利用促進などに取り組んでいました。

### 大牟田市



今後の人口減少、財政状況を見込み、平成26年度に公共施設維持管理計画が策定されました。専門部署を設置し、原則施設の新設は行わず、優先度の低い施設は統廃合を基本とし、今後30年間で20%の建物縮減と長寿命化の推進を目標とするなど、積極的に取り組んでいました。三島市でも同様の課題を抱えており、参考にしたいと感じました。

### 熊本市



熊本市動物愛護センターでは平成14年から殺処分ゼロへの運動が始まり、行政、民間で一体となり取り組んでいます。平成26年には犬の殺処分ゼロが達成されました。動物の安易な受け入れをせず、引き取ってくれる里親を増やし、小学校での愛護教育や、迷子動物を減らす運動などを積極的に展開しており、三島市でも参考にしたいと感じました。

## 議会の活動

### 〔10月〕

- 1日 本会議(議案審議)、議会報告会全体会議
- 5日 議会だより編集委員会
- 6日～8日 福祉教育委員会行政視察
- 7日～9日 経済建設委員会行政視察
- 8日 東部地区市議会議長会(御殿場市)
- 16日 議会報告会街頭広報
- 22日 東海市議会議長会理事会・研修会(可児市)

### 23日 議会報告会運営会議

- 27日 静岡県市議会議長会正副会長監事会議・定期総会(藤枝市)
- 30日 議員説明会

### 〔11月〕

- 6日 議会報告会(市民活動センター、中郷文化プラザ、消防庁舎)
- 7日 議会報告会(総合防災センター、北上文化プラザ、錦田公民館)
- 10日 全国市議会議長会評議員会(東京)

<h1>福祉教育委員会</h1>	<h2>周南市</h2> 	<h2>高松市</h2> 	<h2>尼崎市</h2> 
	<p>中学校区を一つのまとまりとする「地域協育ネット」としての取り組みが平成23年度から始まり、「周陽中学校運営協議会」を「地域協育ネット協議会」とも兼ねて体制づくりが行われています。運営協議会に関わるすべての人が、子どもたちの「生きる力」を育む必要性を理解し、共有している様子が見られ素晴らしい取り組みであると感じました。</p>	<p>高松市では、高齢者が健康で生きがいを持ち安心して暮らし続けられる社会の実現を理念とし、社会参加、生活支援、見守り、居場所づくりの拡充の取り組みが推進されており、平成28年度までに300カ所の高齢者の「居場所」づくりを進めています。地域による温度差や「居場所」の掘り起こしなど、課題解決に注目したい事業だと感じました。</p>	<p>尼崎市では、子どもの育ち支援条例を制定し、子どもを取り巻く社会環境の改善につなげるため、地域での主体的な取り組みやネットワークづくりが行われています。「子育てコミュニティワーカー」を設置し、地域の気軽な困りごとの相談や子育てに関する活動団体の相談、団体交流間の相談なども行っている点は参考にしたいと感じました。</p>
<h1>経済建設委員会</h1>	<h2>館林市</h2> 	<h2>高崎市</h2> 	<h2>ひたちなか市</h2> 
	<p>館林市は、「中小企業振興基本条例」を制定し、商工業が盛んで活力あるまちづくりに先進的に取り組まれています。中小企業振興会議を設置し、市に提言できる仕組みをつくることで施策を総合的に推進しやすくなりました。また、伴走型個別事業者支援により中小企業と市がともに振興を図っていこうという強い決意が感じられました。</p>	<p>「まちなか商店リニューアル助成事業補助金」は、事業者のやる気と商業の活性化により、市内全体を盛り上げていくことを目的としています。その対象は市内の店舗という広い枠組みで、空き店舗での創業のみならず、既存店舗の改装や備品購入も含まれていました。さらに、その発注先を市内業者に限定することで経済の市内循環が図られていました。</p>	<p>勝田駅東側地区は、老朽化した低層建築物が多く、賑わいの欠如と防災上の課題を有していました。しかし、保留床の処分に目処が立たないなど、大きな課題を抱え事業自体が一度頓挫したものの、身の丈にあった規模にすること、民間活力を導入することにより、事業費を削減し、資金面での市のリスクを限りなく抑えることに成功した事例でした。</p>

10日 富士箱根伊豆交流圏市町村サミット（富士市）

16日 東部地区6市4町議会議長連絡会（裾野市）

19日 各派代表者会議、議会運営委員会、議案説明会

24日 議会報告会運営会議

26日～12月10日 11月定例会

26日 各派代表者会議、本会議（議案審議）

30日 経済建設委員会、総務委員会  
〔12月〕

3日 各派代表者会議、議会運営委員会  
3日～9日 本会議（一般質問）

10日 本会議（議案審議）、議会運営委員会

15日 年末の交通安全県民運動街頭広報、議会報告会運営会議

16日 議会だより編集委員会

22日 議会だより編集委員会

